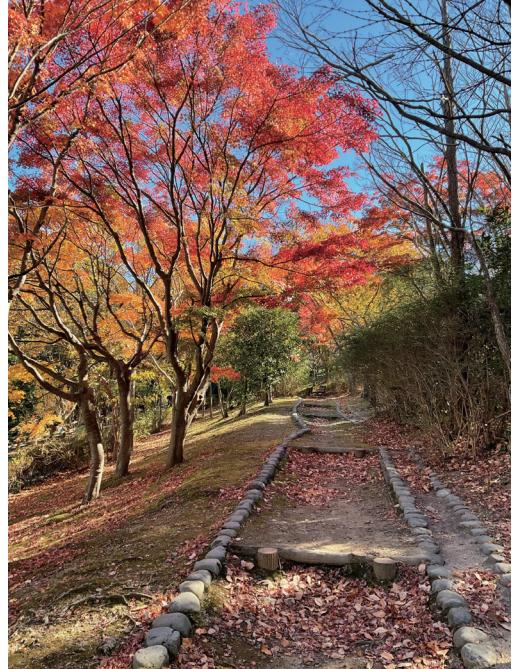


沼間小学校区地域連合会だより (住民自治協議会)



ごあいさつ

沼間小学校区地域連合会(沼間住民自治協議会)は住民が主体となって、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指して、当区域の問題に取り組んでいます。本年は関東大震災から100年を迎えます。日頃の防災意識向上のため、防災のページを設けました。そして、活動が活発になってきた会員の皆様をご紹介させていただきます。ご覧ください。

防 災 へ の

防災施設マップ改定

災害は忘れた頃にやってくるとよく言われています。今年は関東大震災から100年目、東日本大震災から12年目にあたり、海外ではトルコ、シリアでの震災でも多くの犠牲者がいる事態となりました。さらに今後30年以内に南海トラフ巨大地震が発生する確率は70~80%で大きな被害を受けると予想されます。

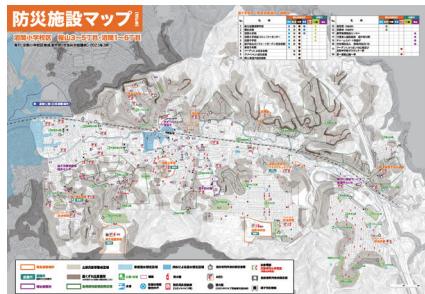
2016年度には、当小学校区最初の防災マップを作成し、全戸配布（約5,500世帯）しました。今回の改定では、行政の変更内容と会員自治団体からいただいた変更情報を反映しました。

災害発生時のスムーズな避難を行うには、平時に各家庭ごとに避難計画を立てて避難行動につなげることが必要です。

逗子市 地域防災計画

2020年度に、逗子市は、地域防災計画の修正を行いました。その中で避難場所等の区分の明確化を行いました。「洪水」「風水害」「地震」「津波」「大規模な火災」といった災害ごとに、緊急に避難する場所（緊急避難場所）が分かるようになりました。また、「避難所」という名称は、被災により自宅で生活できなくなった方が、状況が改善するまで生活をし続ける場所に使うことにしました。

「緊急避難場所」は災害直後に短期間、難を逃れる場所です。その違いを知っていただきたいと思います。



内閣府 避難情報に関するガイドライン

2021年度には、それまでの「避難勧告」と「避難指示」の差が分かりにくいといった問題を解消するために、内閣府より「避難情報に関するガイドライン」が出されました。

「水害」内水氾濫危険区域

水害については、JR 東逗子駅前周辺に「内水」による氾濫危険区域があることを表示しました。河川の水位が上昇して堤防を越えたり、堤防が決壊したりして水があふれ出すことを「洪水」と言います。これに対して「内水」は、降水量が河川や下水の設計での排水能力を超えて起きた洪水です。外水に比べれば緩慢と言われていますが、警戒を怠ることはできません。

取り組み

わが家の避難行動計画

さらに、今回の改定で大切なことは、単に最新の掲載情報を知っていただけではなく、実際にこのマップを使って、各家庭で避難行動計画を作成し活用していただくことを目的にしていることです。現マップの裏面掲載情報は全て、逗子市が2022年1月に市内全戸配布した「土砂災害等ハザードマップ」に掲載されています。そこで、当会では裏面を「わが家の避難行動計画」作成案内に使いました。

崖崩れ注意箇所調査

2016年には会員団体に地域の掛け崩れ注意箇所の情報提供を呼びかけ、約50箇所の情報を得ました。それらを役員有志により実施調査を行い、最も危険度が高いと判断した5箇所について、市に対策要望を提出した結果、速やかに対策をしてもらうことができました。

その後、池子では崖崩れ死亡事故が起き、このような重大な事故が起こることは、専門家ではない私たちが判断することはできないと思いました。

そこで、全ての注意箇所の調査を市に依頼し、2021年末迄に市は全箇所の調査を終え、当会に結果の報告をしてくれました。

また、必要に応じて県土木事務所への急傾斜地要望の助力をしてくれました。

この活動は、2021年NHK首都圏ネットワークで取り上げられました。



次年度の活動

次年度、当会では配布した「防災施設マップの活用推進」と、「掛け崩れ注意箇所の状況報告」を継続していきます。

防災施設マップの活用では、「わが家の避難行動計画」を多くの住民の皆さんに作成していただきたいと思います。作成のサポートは次年度以降、行っていきたいと思います。

崖崩れ注意箇所については、現在、会員の皆さんから2022年度当初

には約50箇所、2023年3月時点では約60箇所の情報が寄せられています。最新状況については、そのつどご報告させていただきます。

更に、ご心配な箇所がありましたら、情報をお寄せください。

災害は他人事ではなく！ 自分事ととらえていきましょう！



会員紹介

逗子桜山ハイツ自治会



令和4年11月20日（日）逗子桜山ハイツ自治会の地域防災訓練に桐ヶ谷市長、近藤県議、松本市議、田幡市議が参加され開催した。要避難者の安否確認、安否確認カードを利用した住民の安否確認（92世帯、回収率83.6%）、避難所に避難しない方を想定し、炊飯袋を利用した炊出し共助の訓練、逗子消防第9分団の協力で、水消火器を利用した消火訓練、服部市議紹介の逗子葉山アマチュア無線クラブの協力で災害時同様に避難所との通信を実践した。無線の中継基地をマイキャッスル壱番館と連携をとる事で、より良い効果が出るとアドバイスを頂きました。団地内の逗子市防災無線塔で災害時は市と連絡が取れると防災安全課職員から説明を受けた。



桜山4丁目町内会

当町内会、年の瀬最大のイベントである「餅つき大会」を2022年12月10日に開催した。コロナ禍の中で開催も危ぶまれたが、3年ぶりの復活となった。当たり前の日常とみんなの笑顔が取り戻せばとの願いから思いきっての決行であったが、幸いにも開催当日は12月とは思えないポカポカ陽気に恵まれた事もあって150名強という予想を遥かに上回る参加者で開催場所の公園も人ひとでいっぱいになる程の盛況ぶり。



つきたての餅を美味しそうにほお張る子供たち、久々にお会いするご近所と笑顔で談笑する高齢者、餅をつくのは初体験という親子連れのお父さん、汗だくになりながらお子さんと一緒に一生懸命杵を振っていた。つきたての餅を心置きなく食べて貰おうと、餅六臼、焼きそば140食分を用意したが、気が付けば総て完食。僅かな時間のイベントだったが、参加者一人ひとりの笑顔に元気付けられた満足度100%の“餅つき大会”であった。

P.S.：市長選挙遊説中に偶々通り掛かった桐ヶ谷市長が飛び入り参加。出身が秋田だけに餅つきはお手の物。早速に上着を脱ぎ棄てて“あっ”という間に一臼つき終わった姿に子供、大人も大喜びでした。

会員紹介

東町内会

東町内会は戦後すぐに配給の受け皿として役所からの指示で地域をまとめたことに端を発し、百戸ほどを東町内会と命名して運営が続けられたと古老から聞いています。町内旅行の起源は不明ですが、親睦を図るという意図は持ち続けられ、防災訓練、お祭り、町内旅行、餅つきは当会の四大事業として延々と続いています。

今回のバス旅行はコロナ禍のステイホームで二年間の鬱積したストレスを開放させようと、八巻会長が全国旅行支援の制度を利用して企画立案した「スカイツリーと隅田川船下り」に大型バスをチャーターして、長い晴れ間の続いている師走の一日、唯一の雨の日に勇んで出かけました。築地場外市場で卵焼きの立ち食いに舌鼓を打ち、雷門前の天ぷら屋の老舗三定で天ぷら昼食、浅草寺に参拝。本殿に向かう時には降られましたが、本殿で雨宿り。お賽銭の功德か青空が出始め、船下りでは川沿いの金色ビールの泡を望み、勝鬨橋をくぐって日の出桟橋まで。暮れゆく湾岸線で晴れ上

がった西空に浮かぶ富士のシルエットに見送られて楽しい旅を終えました。



神武寺谷戸町内会

神武寺谷戸町内会では7月と11月の年に2回、町内一斉清掃を行っています。各班ごとに清掃エリアを振り分けていますが、ほとんどが草むしりや枝の伐採など緑との戦いです。一人ではいたちごっこになってしまふような広範域の草むしりも、町内会のみなさんで取り組むとわずかな時間で見違えるようにさっぱりとします。

また、年に2回防災倉庫の点検を兼ねた小規模な防災訓練も実施しており、発電機や投光器の動作確認などの他、今年はアウトドアクッキングを予定しておりましたが、コロナ禍につき、お湯を沸かしてお茶を淹れるにとどまりました。



会員紹介

ズシップ沼間地区連合会

ズシップ連合会は初詣旅行を計画、今年の1月26日(木)成田山新勝寺と香取神宮、佐原の街並み散策と道の駅佐原を見学してまいりました。大型バス2台で楽しい日帰りの旅でした。当日は日本晴れのとても暖かい日よりでしたので、足取りも軽く和やかに旅することができました。成田山や香取神宮はコロナのこともあり参拝者はそれ程ではなく、ゆったりとお詣りすることができました。成田山や道の駅での買い物はクーポン券を利用することができましたので、あれこれそれなりに買い物ができました。

バスの中も買い物で咲いておりました。食事もおそば付きのちらし丼でしたがお店の方がお土産の伝のことばかりで、味噌汁を付けることを忘れてしました。せっかくのお御馳走もまずくなり



そうでした。高齢者の旅行なのでそれなりにゆっくりと見学できて楽しむことができ、バスの中も和気あいあいに語り合いながら過ごすことができ、久しぶりに参加できたことを皆さん大変喜んでおられました。お詣りはそれぞれに自分の健康や家族のこと、今の幸せが続けられることを願ったことでしょう。佐原の街並みは埼玉の腰越の街並みと同じで瓦屋根が美しく続き若き良き時代を思い出させてくださいました。旅は道連れ元気の元で



東逗子商栄会

東逗子では毎月第一日曜日に朝市を行っていますが、1月に開催された朝市は、経済産業省の支援を受け、バージョンアップ版として1月15日(日)東逗子GOTO朝市として開催しました。沼間小学校区の各自治会に回覧やポスターなど協力して頂き、



朝市としては初めて無料の送迎タクシーを6ルート走らせることができました。朝市会場には統一されたテントで30店舗ものお店が立ち並び、イートインコーナーも充実し、様々なご家族でにぎわっていました。



来場者総数は2000名超。通常の朝市が300名くらいなのですごい賑わいでした。市長をはじめ、商工

会長、観光協会会长もお越しいただき、地元沼間選出の市議会議員の皆さんがスタッフとしてタクシー乗降案内やアンケート取りに汗を流している姿は、東逗子だけではないでしょうか。



おねがい

空き家対策へのお願い

この家はしばらく雨戸が閉まっているし、庭には雑草が随分増えているが、この家は空き家かな?と思ったことはないでしょうか。しかし実際には長期入院だったり、ご子息としばらく暮らしていたり、施設に入ってしまったなど、空き家なのかどうかわからないのも現状です。



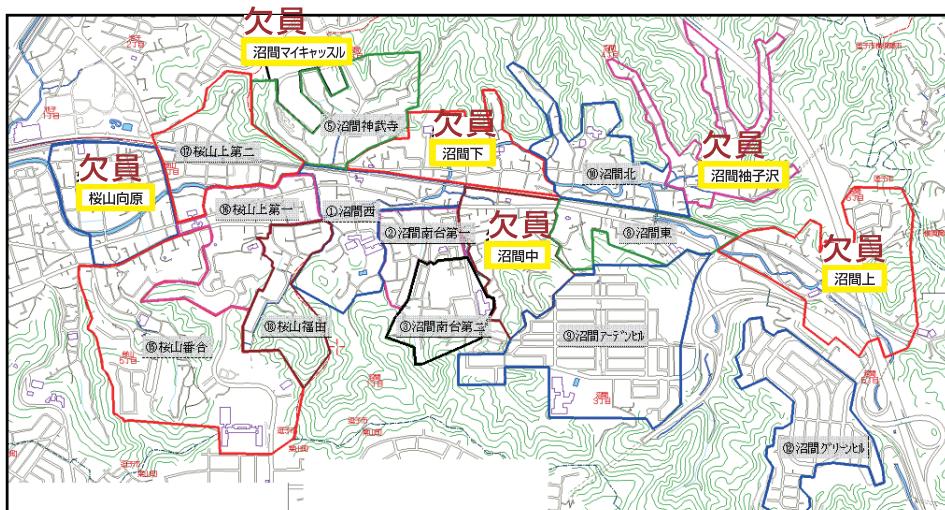
沼間小学校区内でも独居老人の孤独死というのがありました。他県では3年も気づかなかったという例もあります。生活感が消えた家を、いちばん身近に感じることができるのは地域の方々しかありません。当会でも、これらのことには何年も取り組んでまいりましたが、この度行政でも人員を増強し、地域と連携を取り、少しでも多くの空き家情報を共有していくことになりました。空き家かな?と思ったら、当会または逗子市役所 046-873-1111 環境都市部 まちづくり景観課

民生委員よりお願い

私たち民生委員児童委員は「住民の身近な相談相手」として地域の高齢者などを訪問し、見守りをしています。生活上、健康上のお困りごとに気づき、寄り添い必要な支援が受けられるように関係各所に繋いでいます。現在、沼間小学校区内18区域のうち、6区域が欠員となっています。

欠員区域を無くし、安心して暮らしていくよう、欠員区域で民生委員になっていただける方を、是非ご紹介いただけませんか?

お問い合わせ先 逗子市役所 046-873-1111 社会福祉課



欠員区域です。



エコ広場ずし・沼間 (逗子ゼロ・ウェイストの会)

私たちはごみの廃出削減のために活動をしています。「あなたの要らない物」が「誰かのありがとう」になります。物品の受付は1人5点まで。

衣類は季節に合ったもので洗濯済みのこと。靴は新品の物のみ受付。食器、台所用品、雑貨などは汚れていないもの。お待ちしています。

沼間コミュニティーセンター

毎月 第1金曜日・土曜日 10:00~16:00



地域のお知らせ

■ 東逗子駅前用地活用事業

公共施設を集約し、逗子のまちづくりに求められる複合施設を整備することで駅周辺の快適性、利便性の向上及び地域の活性化を図ることを目的とする事業です。

東逗子ふれあい広場として様々な用途で利用されている空地部分は、公共空間と一体的な空間を構成して多様な活動に利用できる広場として新たに整備されます。

2027年度の完成に向けて、2023年度には基本計画の策定をするそうです。



■ 逗子市消防団第3分団詰所の建替え



現在の消防団第3分団詰所は、築52年が経過しており老朽化が進んでいます。

消防団員の安全性の確保及び円滑な消防団活動を確保するため、建替えを行う必要があることから、令和5年度に設計業務を行い、令和6年度以降に建替え工事が実施されます。

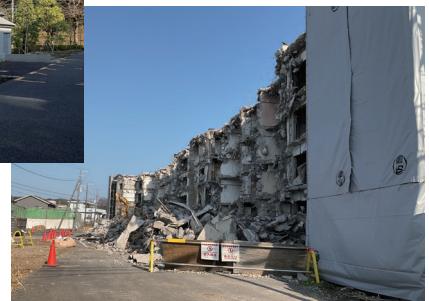
沼間地区における市民生活の安全安心を確保するため、防災拠点としての機能強化を重要視し、消防団詰所として独立した施設を整備していくそうです。

なお、令和5年7月頃、住民説明会が実施される予定です。

■ 逗子桜山ハイツ集会所が新しくなりました

新しい逗子桜山ハイツ集会所が昨年9月より逗子桜山ハイツ自治会管理のもと運用を開始しました。旧桜山ハイツ集会所は逗子桜山団地DE改良アパートの敷地内にありました。DE改良アパート退去に伴い、新しく移転・建設されました。2棟がホールでつながったおしゃれなデザインで、片方は大きな集会室（2分割可）もう片方には和室と給湯室、トイレがあります。

いよいよ逗子桜山団地DE改良アパートの解体も始まりました。



当会の定例会議

■ 代表者会議（沼間コミュニティセンター）

第4土曜日 15:00~16:00

■ 役員会（逗子桜山ハイツ集会所）

第3金曜日 19:00~21:00



発行責任者 会長 曽志 光子

事務局

沼間コミュニティセンター内

逗子市沼間 3-16-32

電話・FAX 046-872-3277